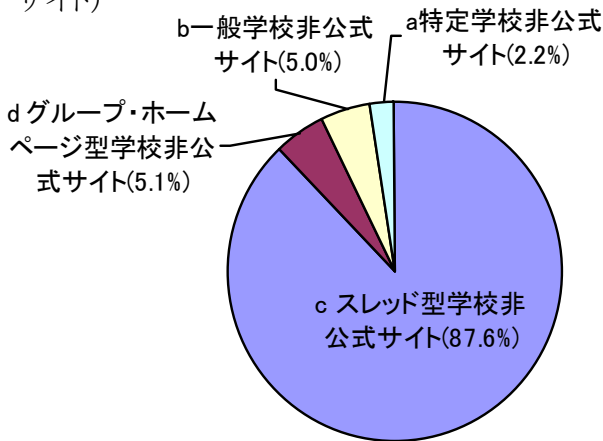


青少年が利用する学校非公式サイト等に関する調査について(概要)

文部科学省調査(平成20年4月15日公表)

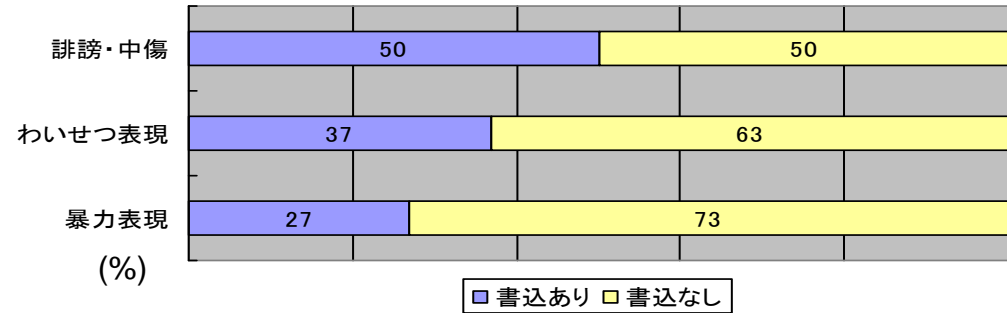
1 青少年が利用する学校非公式サイト等のウェブサイト数に関する調査(一般的な中高生が利用する学校非公式サイト等のポータルサイトから、サイト数を調査)

- (1) サイト・スレッド数 38,260件
(平成20年1月～3月現在で確認できたもの。)
- (2) 形態
 - a 特定学校非公式サイト…………… 858件
(特定の学校の生徒が閲覧や書き込みをするもの)
 - b 一般学校非公式サイト…………… 1,931件
(全国の中高生が誰でも掲示板を閲覧し書き込みもできるもの「Teens学園」、「高校生のしゃべり場」等)
 - c スレッド型学校非公式サイト…………… 33,527件
(「2ちゃんねる」など巨大掲示板にスレッドとして掲載されているもの)
 - d グループ・ホームページ型非公式サイト… 1,944件
(生徒が「個人ホームペ」と呼び、数人のグループで遊ぶサイト)



2 書き込み内容に関する調査(調査地域(群馬県、兵庫県、静岡県)を限定し、青少年が利用する学校非公式サイト約2000件に書き込まれた内容について調査)

- (1) 「キモイ」、「うざい」等の誹謗・中傷の32語が含まれる……………50%
- (2) 性器の俗称などわいせつな12語が含まれる……………37%
- (3) 「死ね」、「消えろ」、「殺す」等暴力を誘発する20語が含まれる…27%



3 中高生に対するアンケート調査(インターネットの危険性とフィルタリングの必要性についてのクロス集計)

インターネットの危険性についての説明等を受けたことがない生徒の約4割が、フィルタリングを「全く必要がない」と回答している。

